

## 平成26年度 直鞍産業振興センター事業方針

昨年度より一般財団法人として、業務内容も営利・非営利を区分し、併せて会計処理上の区分を行ってきました。事業体制は確立しつつあるものの、経営環境の厳しさはさらに増えています。本年は従前に比べても固定費の圧縮に向けた活動の強化、さらには今後に向けた人員体制の計画を策定していきます。

一般財団として事業継続に向けた活動として、「継続こそ力なり」をモットーとした職場風土を形成していきます。

### 重点施策

#### 1. 産業支援事業

- 1) 「直鞍産業振興世界戦略研究会」と「直鞍自動車産業研究会」の2つの研究会の事務局として、地域の自治体（2市2町）との連携をより密にすると共に、各企業のそれぞれのニーズにあった事業活動のサポートを推進していく。
- 2) 「地域産業の魅力掘り起こし事業」支援業務を進めることで、地域の持ついろいろな特徴を調査分析し、地域産業の活性化に繋いでいく。

#### 2. EMC関連事業

- 1) 大手企業の売上低迷を、自動車関連及びJAB取得による利用度のUPに向けた営業活動を強化する。
- 2) 新人の早期戦力化を図る。

# 平成26年度事業計画

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

## 1 産業支援事業

### (1) 直鞍産業振興世界戦略研究会事業

研究会の活動を充実し、グローバルな地域企業経営者の人材育成、国内に限らず海外との取引を模索する活動に繋いでいく。本年度より各企業での成果につながる活動に傾注していく。

### (2) 直鞍自動車産業研究会事業

テクニカルサポーターによる、発注先企業と地元企業とのマッチング推進。地域産業の魅力掘り起こし事業の支援業務の中でも、調査分析を行い自動車産業を中心に地域の活性化に注力していく。

### (3) 研究開発支援事業

直鞍地域周辺に蓄積された金型・部品加工をはじめとする基盤的技術と九州工業大学、近畿大学等が持つ研究開発シーズを結びつけるため、福岡県工業技術センター機械電子研究所や、(公財)飯塚研究開発機構、(株)北九州テクノセンター等と連携を図りながら産学官共同研究を推進する。

### (4) 人材育成事業

① 労働安全衛生法等に基づく技能講習等の開催をする。

② 社員教育セミナーの開催をする。

社員としての心得をはじめ職場での安全教育を行い、企業戦士としての心構えを習得してもらい即戦力になるよう教育セミナーを実施する。

③ ものづくり教室や工場見学会の開催をする。

小学生を対象にし、ものづくりの楽しさを体験する「ものづくり教室」や、実際の製造現場を見学する直鞍地域の工場見学会を実施する。

④ 発明くふう展の開催をする。

次世代を担う児童生徒に、創作する喜びと発明くふうの楽しさを体験させ、将来の技能者の土壌を育てるために実施する。

## 2 EMC関連事業

### (1) 電波暗室の開放利用、計測補助業務

電波暗室を開放し、EMC関連の測定・評価を行う。また利用者に対する技術指導や測定・評価の補助を行う。

### (2) 計測・試験の受託業務

A D O Xの技術者が、利用者から依頼されたEMC関連の測定・評価を行う。

### (3) オンサイトの受託業務

利用者から依頼された現地でのEMC関連の測定・評価を行う。実務は業務提携先を中心に行い、A D O Xとしての客先サービスの拡大を図る。

### (4) 試験報告書発行業務

A D O Xの技術者が、利用者から依頼されたEMC関連の測定・評価を行い、

各測定の実験報告書を発行する。

(5) 自動車関連測定業務について

稼働率も徐々に上がってきているので職員の技術力向上と、自動車関連測定施設の周知を図っていく。

(6) EMC人材育成業務について

「EMC人材育成事業」を、昨年引き続き、独自の事業として活動を行う。そのために福岡県及び工業技術センター（機械電子研究所）と連携し、EMC技術者を育成するための各種セミナーを開催していく。

(7) 新人技術者の早期戦力化について

外部研修を含めこの1年間は基礎技術力の習得に注力する。